

令和8年度 鎌倉市水の官民連携（ウォーターPPP）導入可能性調査業務委託特記仕様書

1 目的

令和7年度の鎌倉市ウォーターPPP導入可能性調査業務委託（以下「R7委託」という。）の結果を踏まえ、ウォーターPPPの更なる深度化を図るため、事業スキームの詳細化を行い、維持管理・更新投資の効率化、運営体制の改善及び将来的な財政状況の改善といった導入目的達成のため、先行して公共施設等運営事業（以下「コンセッション事業」という。）を実施中の他自治体へのヒアリングを通じて市の課題解決に資する知見を得て、デューデリジェンス前の条件整理として各種分析を実施し、その分析結果を公募時の基礎資料および開示資料とすることを目的とする。

2 業務内容

(1) 導入に向けた検討事項の対応方針整理

ア R7委託成果を踏まえた導入に向けた検討事項及び対応方針の整理を行う。

イ 鎌倉市の課題解決に向け、先行してコンセッション事業を実施している自治体へのヒアリング補助、ヒアリングで確認すべき項目の作成及びヒアリング結果のとりまとめを行う。

(2) 事業実施体制の検討

コンセッション事業導入後の鎌倉市、運営権者の役割分担や責任主体を整理し、事業実施体制を検討する。

(3) リスク分析

ア コンセッション事業導入に当たって想定されるリスクを整理する。

イ 想定されるリスクについて、鎌倉市と運営権者のリスク分担を整理し、リスクの責任主体を整理する。

ウ (7)「民間事業者へのサウンディング」に基づき、リスク分析の見直しを行う。

(4) モニタリング手法の詳細検討

コンセッション事業が円滑に実施されるモニタリングの枠組み及び運営体制を検討する。

(5) 事業スキームの詳細化

ア R7委託でのサウンディング調査結果及び本業務の検討結果を踏まえ、実現可能性のある事業スキームの詳細化を行う。

イ 事業スキームの具体的内容及び事業期間の条件等の精査を行う。

(6) VFM（バリュー・フォー・マネー）及び運営権対価の算出

コンセッション事業導入に当たっての詳細なVFM計算及び公民連携効果を測定し、運営権対価を算出する。

(7) 民間事業者へのサウンディング

ア (1)～(6)の検討結果を踏まえ、参加意向・課題点・要望について調査票を作成し、サウンディング調査を行う。

イ サウンディング調査結果のHP公表に向けたとりまとめを行う。

ウ 地元展開企業への情報提供に向けた対応を行う。

(8) 整理すべき課題の抽出

ア (1)～(7)の結果を踏まえ、公募資料となるインフォメーションパッケージに必要な資料リスト、検討内容の整理を行う。

イ 次年度以降に検討が必要な課題・整理すべき項目のマイルストーン（条例改定などの議決事項を含む）を設定し、令和13年度コンセッション事業開始を前提としたロードマップを作成する。

(9) 報告書の作成

本委託にて検討した資料及び検討に要した資料を取りまとめる。

(10) 打ち合わせ協議

業務着手時、中間報告、業務完了時等、月1回程度の打合せを実施する。

(11) その他

発注者が必要とする資料を作成する。

3 貸与資料

令和6年度下水道分野におけるウォーターPPP等の案件形成に向けた方策検討（その2）業務報告書

令和7年度鎌倉市ウォーターPPP導入可能性調査業務報告書

その他必要となる資料等